

## Ⅳ 重点推進プロジェクト

### 1 まちづくりの基本的な視点

少子高齢化が進行し、将来人口の減少が予測されるなど、非常に厳しい社会経済情勢において、必然的に地域間競争が激しくなっており、将来の都市像の実現に向けて、持続的で特色のある都市経営が求められています。

そうした中、市民ニーズに合わせて行政サービスも拡大・多様化しているため、行政が市民と丁寧意思疎通を図るなど市民に寄り添いながら、市民との相互理解のもと、連携して施策を推進していくことが必要となってきました。

また、地域活力の低下に加え、市民が感じる住みよさ、本市への居住意向等も低下しており、定住人口の維持、特に若い世代の転出を抑制していく必要性が高まっています。そのため、市民をはじめ本市に関係する様々な個人や団体を対象に、本市の歴史や伝統、文化から育まれるシビックプライド（周南市に対する愛着や誇り、共感等）を醸成し、市民等が当事者意識を持ちながら、多様な形で周南市に関わっていくことも大切となります。

こうして市民と行政が一体となり、豊かな自然、活力ある産業、良質な都市基盤、受け継

がれてきた歴史・文化など、本市の強みとなる地域資源を活かしたまちづくりを推進し、暮らしの質と本市の価値を高めていくことが重要です。

基本構想で掲げた将来の都市像を実現するためには、限られた財源、人材等を効率良く配分するとともに、分野・施策間の緊密な連携を図ることにより、本市が抱える課題に対して的確に対応していかなければなりません。本市では、後期基本計画期間内に特定の目的を達成するため、将来の都市像の実現に必要な「市民に寄り添う」「シビックプライドを育む」「周南の強みを活かす」の3つのまちづくりの基本的な視点に基づき、重点的かつ横断的に実施する施策群である「重点推進プロジェクト」に積極的に取り組み、「持続可能なまち」を未来につなげます。

※持続可能な中山間地域づくりプロジェクトは、山口県中山間地域づくりビジョン等に基づく市の中山間地域づくりの方向性を示す指針として位置付けるものです。

### 将来の都市像の実現に必要なまちづくりの基本的な視点

#### 1. 市民に寄り添う

行政が、様々な機会を通じて市民の声に耳を傾けながら、市民との相互理解を深めていく。

#### 2. シビックプライドを育む

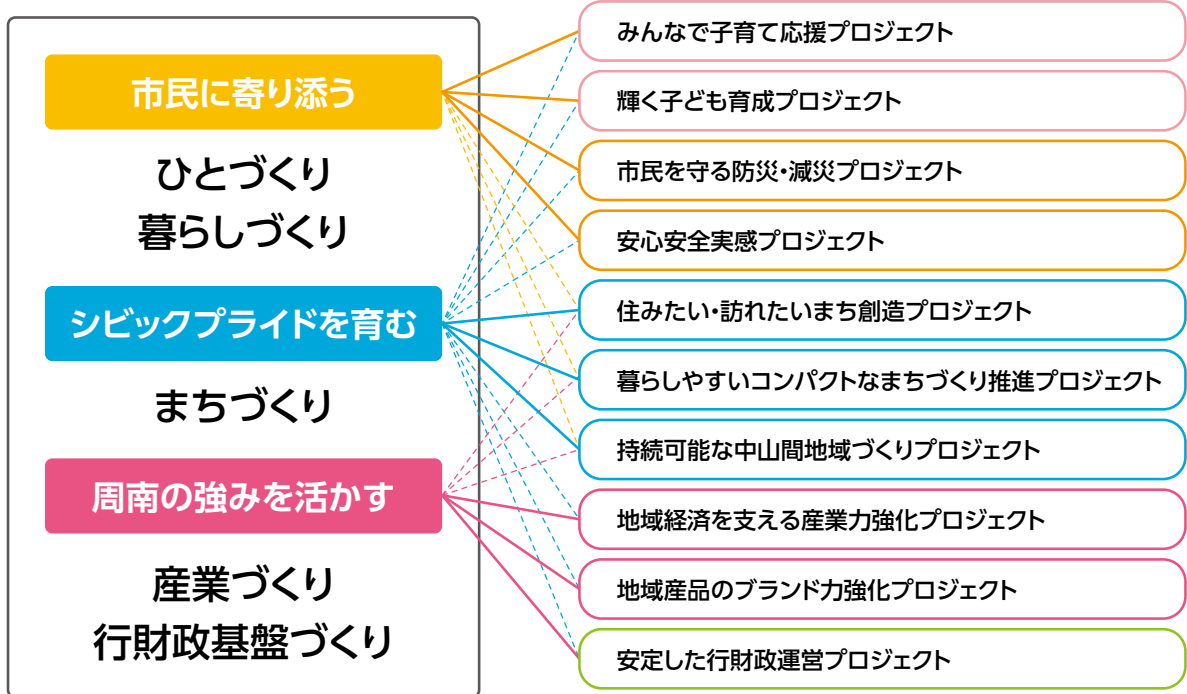
市民をはじめ周南市に関係する個人や団体を対象に、本市に対する愛着や誇り、共感等を醸成して、本市との関係性を深めていく。

#### 3. 周南の強みを活かす

自然や産業、都市基盤、歴史文化など、本市の強みとなる地域資源を最大限に活用していく。

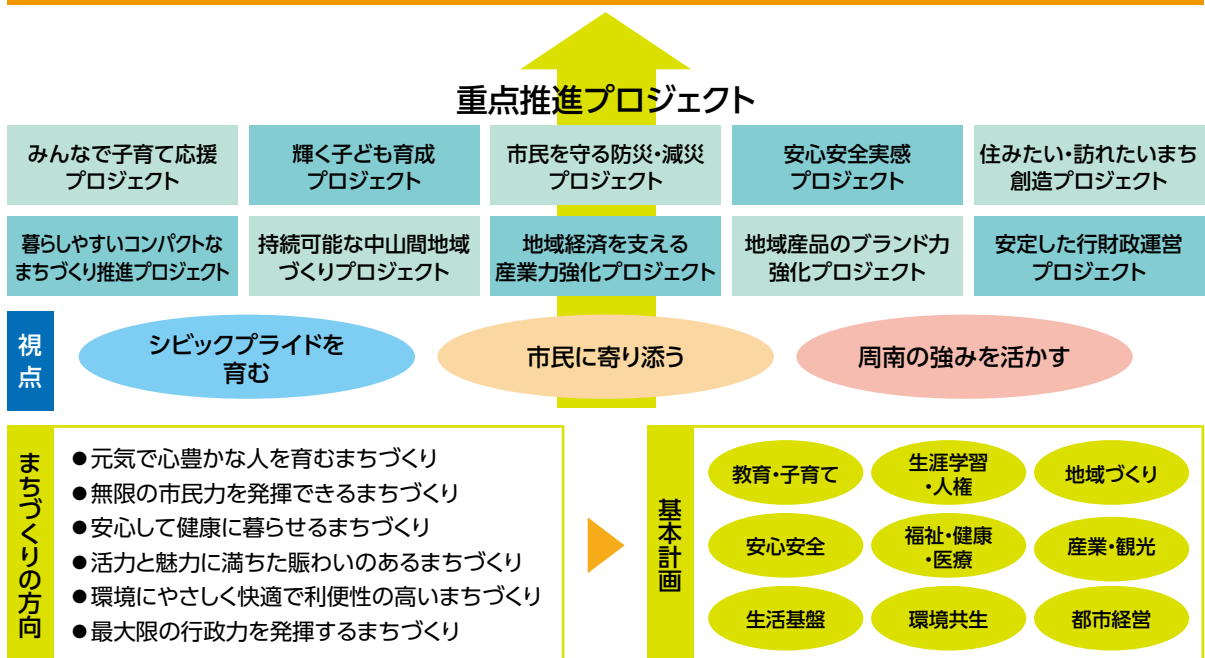
まちづくりの基本的な視点と重点推進プロジェクト

まちづくりの基本的な視点



将来の都市像に向けた取組イメージ

将来の都市像：人・自然・産業が織りなす 未来につなげる 安心自立都市 周南



IV  
重点推進  
プロジェクト

## 2 重点推進プロジェクト

### 市民に寄り添う ～ひとづくり・暮らしづくり～

#### (1) みんなで子育て応援プロジェクト

人口減少の要因の1つとなる少子化は、未婚化・晩婚化の進行、子育てに係る心理的・経済的負担などに起因していると考えられています。その少子化の進行が、子どもや若者の減少につながり、本市の教育環境、労働力、地域コミュニティ等に多大なる影響を及ぼし、ひいては都市の持続可能性の低下を招く重要な

問題を生じさせています。

若者を中心とした定住促進や出生数増加のため、仕事と家事、子育て等を調和させて多様なライフスタイルを実現しながら、安心して子どもを産み育てることができる、結婚・妊娠・出産・子育てに優しいまちづくりを推進します。



#### 主な取組

- こども・子育て総合支援拠点を中心とした相談支援の充実
- 子育てに寄り添う、きめ細かな母子保健の充実
- 保護者のニーズに対応した保育サービス
- 結婚から子育てまでを支える環境づくり
- ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画の推進 など

**関連する推進施策**

- 学校・家庭・地域の連携強化
- 子育て支援サービスの充実
- 母子保健の充実
- 保育サービスの充実
- 子どもの明るい未来への支援
- 男女共同参画の推進 など

#### (2) 輝く子ども育成プロジェクト

グローバル化や情報技術の進歩、少子化などにより、複雑で予測困難な社会へ急速に変化する中で、教育は、子どもたちが将来にわたって幸福な生活を営んでいくための基礎であり、本市、ひいては我が国の将来を担う人材を育て

る重要な使命を持っています。

子どもたちに知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むとともに、これからの変化の激しい社会を生きていくためのチャレンジ精神や逆境を乗り越えていくなどの『生き抜く力』を

育成することで、子どもたちが自らの可能性を  
発揮し、より良い社会と幸福な人生の造り手と  
なれるまちづくりを推進します。

また、子どもたちが生まれ育った環境によっ  
て将来を左右されることなく、学んだりチャレン  
ジしたりすることができるまちづくりを推進します。



#### 主な取組

- ICTの活用等による新たな学びの推進
- コミュニティ・スクールを核とした教育の推進
- 人格形成の基礎を培う幼児教育の推進
- 安心安全で快適な教育環境の整備
- 地域と連携した、子どもの明るい未来への支援 など

#### 関連する推進施策

- 学校教育の充実
- 地域とともにある学校づくり
- 幼児教育の充実
- 教育施設の整備
- 学校・家庭・地域の連携強化
- 子どもの明るい未来への支援 など

### (3) 市民を守る防災・減災プロジェクト

日本各地で地震、豪雨、台風等の自然災害  
が連続して発生し激甚化する中、自然災害に対  
する日頃からの備えや、市民の生命・財産を守  
る防災・減災、国土強靱化の重要性が一層認  
識されています。

自然災害等から市民の生命と財産を守るため、  
「自らの命は自らが守る」という自助の防災意  
識の向上と併せて、重要インフラの機能を維持  
するなど、ハード・ソフトの両面で災害に強い  
まちづくりを推進します。



### 主な取組

- 多様な主体が連携した防災・減災の実現
- 防災情報の収集力・伝達力の向上
- 河川、雨水排除施設等の保全・整備
- 複雑多様化する災害に対応する消防力の充実
- 公共施設等の耐震化の促進
- 危険なブロック塀等の撤去の支援 など

#### 関連する推進施策

- 地域防災力の強化
- 防災対策の充実
- 河川等の整備・保全の促進
- 津波・高潮対策の推進
- 消防力の充実
- 安心安全な住まいづくり など

## (4) 安心安全実感プロジェクト

高齢化、ライフスタイルの変化、地域社会の衰退等が進むにつれて、特殊詐欺や情報漏洩など、日常生活における新たな危険が増加するとともに、情報格差、危険空き家、サル・イノシシなどの有害鳥獣、野犬等により、生活環境にも不安が増大しています。

また、高齢化が例を見ないスピードで進む一方で、高齢者等を支える側の労働力人口は減り続けていきます。

人生100年時代を迎える中で、その前提とな

る身近な暮らしの安心安全は、市民生活にとって最も重要な課題の1つです。

子ども、高齢者など誰もが住み慣れた地域で一生元気に暮らせるようにするため、地域コミュニティ、関係機関等と連携しながら、身の回りの様々な危険や生活不安を解消する仕組みをつくとともに、地域での支え合いや福祉サービスを包括的・継続的に提供するなど、安心安全を実感できるまちづくりを推進します。

生活環境



地域社会



医療  
福祉  
行政

### 主な取組

- 消防団をはじめとする地域防災力の充実
- 県や警察等と連携した野犬対策の強化
- 地域で支える地域包括ケアシステムの深化
- 安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の充実
- 倒壊の危険がある空き家の適正管理の促進
- 細やかで行き届いた広報広聴の充実 など

#### 関連する推進施策

- 救急救助業務の充実
- 安心安全な暮らしの実現
- 高齢者を地域で支える体制づくり
- 地域医療体制の充実
- 空き家・空き地対策の推進
- 広報広聴の充実 など

## シビックプライドを育む ～まちづくり～

### (5)住みたい・訪れたいまち創造プロジェクト

人口減少、少子高齢化等により、地域づくりや産業を支える担い手の不足などが深刻化しており、地域で活躍する人材の確保等が重要な課題となっています。

こうした人材を育成しつつ人口減少を抑制するため、安心して暮らせる自立した地域づくりを進めるとともに、多様な形で継続的に地域と

関わる関係人口の創出や観光等の交流人口の拡大を図りながら、移住や定住を促進するまちづくりや、まちの魅力を高めるまちづくりを推進します。

また、市内にある高等教育機関と連携した人材の育成等により、若者の定住につながるまちづくりを推進します。



#### 主な取組

- 高等教育機関と連携した人材育成やまちづくりの推進
- 郷土を学び文化を尊重するまちづくりの推進
- スポーツコンベンションに向けた周南緑地の充実
- 特色ある地域コミュニティづくりの推進
- 新しい人材を呼び込むUJ1ターンの促進
- 地域資源を活かした「日常をときほぐす観光」の推進
- 徳山動物園リニューアルの推進
- 定住・関係・交流人口の拡大につながるシティプロモーションの推進 など

#### 関連する推進施策

- 高等教育等における人材の育成
- 文化財等の保護と活用
- スポーツ交流の推進
- UJターン促進の促進
- ニューツーリズムの推進
- シティプロモーションの推進 など

### (6)暮らしやすいコンパクトなまちづくり推進プロジェクト

人口減少、少子高齢化等により、医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスが成り立たなくなるなど、地域活力が低下してきており、持続可能な都市構造への転換や、誰もが安心できる快適な生活環境の実現等が重要な課題となっています。

人口減少を抑制しつつ、安心して暮らせる自

立した地域社会を実現するため、中心市街地の賑わい創出、小さな拠点づくり、良好な居住環境の整備、公共交通ネットワークの維持等を図りながら、「住み続けたい」と思えるような日常生活の利便性や快適性を高めるまちづくりを推進します。



#### 主な取組

- 利用しやすい公共交通ネットワークの形成
- 快適な景観と居住空間の整備
- 安心安全な住まいづくり
- 広域交通結節点である徳山駅周辺整備の推進
- 中心市街地における賑わいの創出 など

#### 関連する推進施策

- 公共交通の確保・充実
- 計画的な土地利用の推進
- 魅力ある景観の形成
- 快適な住環境の整備
- 中心市街地の拠点性の向上
- 地域都市拠点や生活拠点の維持 など

## (7) 持続可能な中山間地域づくりプロジェクト

### 1. 中山間地域の現状等

#### ① 中山間地域の範囲

本市の中山間地域の範囲は「山口県中山間地域振興条例」に基づき、地域振興5法により公示された地域又は区域及び農林水産省の農業地域類型区分による山間農業地域、中間農業地域のいずれかに該当する地域とします。これにより該当地域は、大津島、須金、中須、須々万、長穂、向道、和田、八代、高水、三丘、鹿野の11地区(昭和25(1950)年時点行政区)です。



#### 地域振興5法

- ①山村振興法    ②過疎地域自立促進特別措置法    ③半島振興法    ④離島振興法
- ⑤特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律

#### ② 人口等の状況

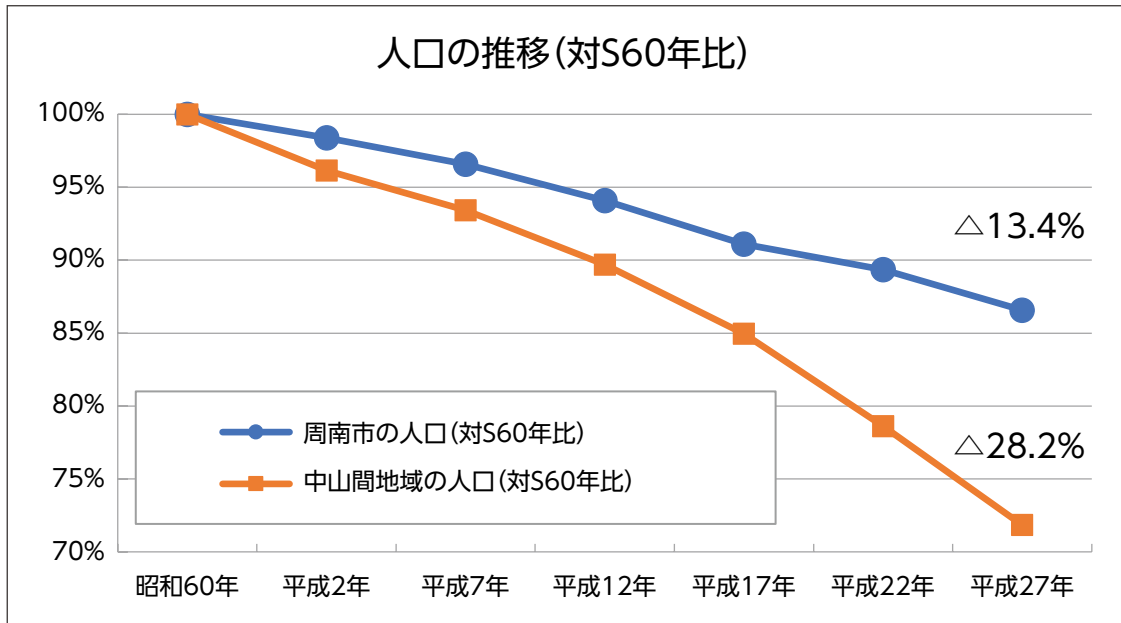
市域の約68%を占める中山間地域には、人口の約11%が居住しています。昭和60(1985)年から平成27(2015)年までの30年間の人口の減少率は、市全体が13.4%、中山間地域では、その2倍以上の28.2%になっています。高齢

化率は、市全体が32.3%、中山間地域では46.1%、年少人口比率は、市全体が11.9%、中山間地域では7.2%になっており、人口の減少と同様に少子高齢化も進行しています。

区分	面積(km <sup>2</sup> )	世帯数	人口	高齢化率	年少人口比率
周南市全体	656.29	68,088	143,113	32.3%	11.9%
中山間地域	447.64	8,033	16,357	46.1%	7.2%
比率	68.2%	11.8%	11.4%	-	-

出典：全国都道府市区町村面積調(R1.7.1)、住民基本台帳(H31.3.31)





資料：国勢調査(各年10月1日)

## 2. 施策の展開

分野別計画を総合的に推進することを基本に、中山間地域固有の課題等に対応するため、特に重点的かつ横断的に展開する取組方向を定めます。

### ①目標

#### 人口減少や高齢化が進む中でも安心して誇りを持って暮らし続けられる地域の実現

市域の約7割を占める中山間地域は、人口減少や少子高齢化が都市部以上に進行し、これまで日々の暮らしを維持してきた助け合いや支え合いなどの集落機能、農業などの生産機能が低下するとともに、買い物や医療などの生活サービスが身近な場所で受けられない地域も現れています。その一方、“水源の涵養やCO<sub>2</sub>の吸収”“農林水産物の供給”“美しく素朴な景観”“地域固有の歴史や伝統文化”など都市部に

はない価値を有し、様々な恵みをもたらしています。

こうした本地域の重要性について市民の共通理解のもと、持続可能なかたちで未来につなげていけるよう、多様な主体が連携して「人口減少や高齢化が進む中でも安心して誇りを持って暮らし続けられる地域の実現」を目指します。

### ②展開の方向(主な取組)

#### 1)暮らし続けられる生活圏づくりの推進

小学校区等の生活拠点の中で、身近な生活サービスの維持や、地域資源を活用して収入を確保する取組等を経営の視点を取り入れて持続的に実践できる体制づくりを推進するとともに、買い物や医療などの一定の生活サービス機能を

有する地域都市拠点等への生活交通を整備するなど、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進します。

**関連する推進施策**

- 地域の夢プランの推進
- 地域づくり推進体制の強化
- 公共交通の確保・充実
- 地域都市拠点や生活拠点の維持

2) 地域の新たな担い手づくりの推進

地域ぐるみで新規就農者をはじめとした移住者の受入を進めるとともに、将来的な地域の担い手にもつながるよう、本市に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図るなど、地域を支える新たな人材の確保を推進します。

**関連する推進施策**

- 地域づくりの担い手の確保
- UJターン促進
- (農林水産業の)新たな担い手の育成と確保
- ニューツーリズムの推進

3) 地域資源の利活用による地域経済循環構造の創出

農林水産物や自然、伝統文化などの地域固有の資源を活かして、地域との関わりを深める都市と農山漁村の交流を推進するとともに、地域製品のブランド化や6次産業化、販路拡大等を図るなど、ヒトやモノが循環する活力のある地域づくりを推進します。

**関連する推進施策**

- 地域製品のブランド化
- 6次産業化の推進
- 地産地消・地産外商の推進
- ニューツーリズムの推進



## 周南の強みを活かす ～産業づくり・行財政基盤づくり～

### (8) 地域経済を支える産業力強化プロジェクト

グローバル化の進展、国内需要の減少、脱炭素の世界的潮流など、製造業をはじめとした地域産業を取り巻く環境は大きく変化しており、本市のみならず県全体の経済を牽引する周南コンビナートの国際競争力の強化や、地域の商業・工業等を支える中小企業の経済活動の活性化などが重要な課題となっています。

地域経済の持続的な発展と安定した雇用の確保を図るため、国、県、企業等と緊密に連携しながら、国際バルク戦略港湾である徳山下

松港の機能強化、幹線道路ネットワークの整備等を進めるとともに、持続的な操業や生産性の向上につながる設備投資、生産設備統合・共同物流など次世代型コンビナートの構築に向けた取組を促進し、働く人も企業も元気なまちづくりを推進します。

また、中小企業等が、地域の特性を活かした新たな事業分野や次世代型の成長産業に挑戦できるまちづくりを推進します。



#### 主な取組

- 企業の国際競争力を強化する港湾基盤の整備
- 円滑な物流を支える幹線道路ネットワークの充実
- 地域経済の持続的な発展につながる企業立地の促進
- 地域を支える中小企業の経営支援
- 水素・医療・環境エネルギーなど成長につながる新産業・新事業の創出
- ビジネスチャンスにつながる起業・創業と事業承継の支援 など

#### 関連する推進施策

- 産業基盤の強化
- 企業立地の促進
- 中小企業等の経営基盤強化
- 新産業・新事業の創出
- 起業・創業支援の推進
- 新エネルギーの利活用の推進 など

## (9) 地域産品のブランド力強化プロジェクト

安価な農林水産物の大量輸入により、価格競争力の弱い国内の生産量は減少するとともに、農林漁業従事者の高齢化や減少が進行しており、農林水産業は、生産品の高品質化・ブランド化を進め、魅力ある産業として活性化していくことが重要となります。

農林水産業における所得の向上や雇用の確保を図るため、道の駅「ソレーネ周南」等を活用しながら、地域ブランドとして広く発信し、地域産品の付加価値を高めるまちづくりを推進します。



### 主な取組

- 地域産品のブランド化と道の駅「ソレーネ周南」の機能拡充
- 付加価値を生み出す6次産業化の推進
- 多様な主体と連携した地産外商の推進など

### 関連する推進施策

- 新たな担い手の育成と確保
- 生産基盤の整備
- 生産体制の強化と販路の拡大
- 地域産品のブランド化
- 6次産業化の推進
- 地産地消・地産外商の推進 など



道の駅「ソレーネ周南」外観

## (10) 安定した行財政運営プロジェクト

少子高齢・人口減少社会が到来し、合併優遇措置が終了するなど財政状況が厳しくなる中、健全な行財政基盤を確立することが、充実した市民サービスの提供に向けて重要となります。

安定した行財政運営による自立したまちづくりを進めるため、自主財源を積極的に確保する

とともに、行財政改革や公共施設等のマネジメントを推進するなど、将来を見据えた計画的な行政経営を推進します。

また、行政経営の基礎となる人材の育成による行政力の強化を推進します。



### 主な取組

- 徹底した行財政改革の推進
- 産業力の強化等による本市の優位性を活かした税収の確保
- ボートレース事業、ふるさと納税等を活用した財源の確保
- 公共施設等の効率的・効果的なマネジメントの推進 など

### 関連する推進施策

- 計画的な施策の推進
- 行財政改革の推進
- 健全な財政運営
- 積極的な財源の確保
- 公共施設等のマネジメントの推進
- ICT等の活用 など



### 3 重点推進プロジェクトの進め方

重点推進プロジェクトの様々な取組を通して、市民等が持つ本市へのシビックプライドを醸成し、多様な形で市民等と周南市との関係性を深めていくとともに、本市の強みである産業力を強化しながら、地域経済の発展や安定した雇用の確保を実現します。

また、日常生活における安心安全の確保、子育て環境や教育環境の充実などにより、生活の質の向上や未来への投資を進め、暮らしやすい地域社会を構築します。

市民にとっての「住み続けたいまち」、市外居住者にとっての「住みたいまち」や「訪れたいまち」の実現に向けて、地域課題の解決や新たな価値の創造を目指し、本市では、市民生活や企業活動、行政等の各分野においてIoT、AI等の先端技術、ビッグデータ等を積極的に活用しながら、重点推進プロジェクトの取組を効率的かつ効果的に推進していきます。

#### ■重点推進プロジェクトの取組イメージ

